

考查項目	工種	a	a'	b	b'	c	d																													
3.出来形及び出来ばえ  II.品質	水路補修工事	<input type="checkbox"/> 評価対象項目の履行状況（評価値）と品質関係の試験結果のばらつきとから判断する。  <b>【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】</b> ※ばらつきの判断は別紙-4参照。 別紙-3の作成は別紙-5により行う。					<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果が規格値、試験基準を超え不適合に該当する。																													
		<p><b>【評価対象項目】</b> [共通]</p> <input type="checkbox"/> 1. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ、現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 2. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 3. 気象条件に応じた施工方法で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 4. 部材の洗浄・下地処理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 5. 養生の期間・現場条件が適切になされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 6. その他（理由： ） <p>[開水路補修工]</p> <input type="checkbox"/> 7. 補修材が当該既設構造物へしっかり密着（規程の付着強度等をクリアされている）されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 8. 目地の対策が適切に施工されていることが確認できる。 <p>[管更正工]</p> <input type="checkbox"/> 9. 規定の厚さで施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 施工後の規定断面が確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 管更正材が当該既設構造物へしっかり密着（規定の付着強度等をクリアされている）されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 各種耐用試験結果（曲げ強度試験他）にクリアしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 曲線部の施工では弛みが無いことが確認できる。また、施工上、やむを得ない出来た弛みも適切な方法により対処したことが確認できる。 <p>●判断基準</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>75%以上 90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>60%以上 75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。                  ②削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として比率（%）計算の値で評価する。                  ③評価値（%）= 該当項目数（ ） / 対象評価項目数（ ）                  ④なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はc評価とする。</p> </div>									ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	a'	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'	60%未満	b'	c
		ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
		50%以下	80%以下	80%を超える																																
評価値	90%以上	a	a'	b	a'																															
	75%以上 90%未満	a'	b	b'	b																															
	60%以上 75%未満	b	b'	c	b'																															
	60%未満	b'	c	c	c																															